

名張市百合が丘 東3番町女性防火クラブ

三重県名張市百合が丘東3番町女性防火クラブ
委員長 山田 泰子



私は、三重県名張市の百合が丘東3番町女性防火クラブ委員長の山田 泰子と申します。私たちの活動をご紹介します。

名張市は、三重県の西部に位置し、古くから東西往來の要所、宿駅として栄えてきたところで、赤目四十八滝や香落溪など自然豊かな景勝地にも恵まれています。昭和40年代以降は関西方面のベッドタウンとして急速に発展し、里山の原風景が広がる農村集落と成熟した住宅地が共存する街並みが広がっています。

さて、私たちのクラブは平成7年11月12日に結成し、丘陵地に開発された新興住宅地で活動しています。

結成当初から自治会と連携して年末の夜回りや防火映画上映などの活動を行い、また、毎年貴協会に共催いただいております消防フェスティバルや名張市防火協会と行う1日消防長行事などを通じ、地域だけでなく広く市民に対しても防火啓発活動を行ってきました。

しかし、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの人が集まるような活動はなかなかできず、防火啓発グッズの配付などの活動を通じ

た防火啓発活動しかできないような状況が続いていました。

そういう状況の中、今年度は新たな活動として貴協会の助成を受け「女性防火クラブ員普通救命講習会」を開催し、救急隊が現場に到着するまでの間に適切な応急手当を実施することできるバイスタンダーを養成することができました。

こういった新たな活動や日本防火・防災協会会長表彰の受賞を励みとし、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えて、今後も活動を行ってきたいと思っています。



和歌山市加太地区 防災会

和歌山県和歌山市加太地区防災会
会長 藤井 保夫



加太地区防災会は、災害による被害の防止と軽減を目的に、平成7年4月1日に発足しました。加太地区は、紀伊水道の沿岸部に位置していることから、南海トラフ巨大地震が発生した場合、低地の大部分が浸水する想定となっており、対策を必要としています。

防災会では、南海トラフ巨大地震への対策として、地区の住民を対象とした避難訓練のほか、それに合わせて避難所開設訓練や炊出訓練などの防災訓練を定期的に行っています。

そのほかの活動としては、地域の被害想定・避難経路等を把握し、各種災害からの早期避難につなげる地区防災計画を作成しました。地区防災計画を作成する際には、ワークショップを開催し、災害から命を守るために住民一人ひとりがどのように避難するべきか、避難行動要支援者の避難支援をどのように行うかについて考えました。

また、加太地区に居住する避難行動要支援者を対象に個別避難計画が作成されたことをきっかけ

に、防災訓練では避難行動要支援者本人と民生委員等の関係者に参加していただき、要支援者各人が設定した避難場所へ避難する訓練を行いました。

今後も地区における防災力の向上と住民の防災意識の啓発に取り組み、災害による被害の防止と軽減に努めてまいります。

